STATE OF TESTING™ REPORT 2018

テストの現状調査レポート

Sponsored by PractiTest

目次：

3 テストの現状調査（The State of Testing™）プロジェクト

4 回答者の統計情報と専門性に関するプロフィール

9 組織におけるテストの部門

15 トレーニング、スキル、成長

18 テストプロセス

23 テストの現状と将来

26 キャリアと自己啓発

29 おわりに

31 ご協力いただいた方々

【テストの現状調査2018 日本語翻訳チームから】
このレポートは、イスラエルのPractiTest社のJoel Montvelisky氏とインドのTea-Time with Tester誌発刊者のLalitkumar Bhamare氏が2013年から毎年実施している「テストの現状調査（The State of Testing™）」の5回目となる2018年版を翻訳したものです。（第1回調査は2013年秋に行われ2014年1月にレポートが発行されたため2014年版は欠番）
今回の調査は2018年1～2月にインターネット上で行われ、日本を含む83ヶ国1433人のソフトウェアテストのプロフェッショナルからアンケート回答があったそうです。昨年に比べると回答者数が少し減ったものの、国の数はかなり増えました（昨年は60ヶ国超）。このテストコミュニティが世界に広がっていることが分かります。
この調査ではテストコミュニティの動向変化を把握するために毎回同じ質問をすることが基本となっていますが、今回は昨今の状況変化を踏まえて新しい質問や選択肢が加えられました。これにより、より最新の状況が理解できる調査になっています。日本でも最近アジャイルテストなど新しいアプローチが広まりはじめています。この翻訳版レポートが、このような状況変化の中にある読者のみなさんの問題を解決する手がかりになることを願っています。

2018年9月
日本語翻訳チーム：根本 紀之、辰巳 敬三、やの よしを、
鈴木 里惇、飯島 茂恵子

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved. Version 1.1

プロジェクト

テストの現状調査（THE STATE OF TESTING™）プロジェクトについて

私たちが5年前にテスト繋がりの友人達に純粋に自由に答えてもらう質問（オープンクエスチョン）をするというプロジェクトを始めたことを考えると少し不思議な感じがします。質問は単純で「テストコミュニティで何が起こっていますか？」でした。しかし、私たちが知る限り、当時はどこにもその答えは見つかりませんでした。

もっと驚くのは、私たちが毎年アンケート調査を続け、偉大なテストコミュニティのあなた方が常に私たちの質問に答える準備をして私たちの職業で起こっている現実、変化、課題をイメージとしてまとめあげるのを助けてくれていることです。

今年のテストの現状調査レポートを見たときに私たちが最も驚くのは、現状のスナップショットだけでなく、いくつかの質問を毎年レビューすることで明確な傾向がよく見えるようになってきたという点です。このことがテストの世界に対する私たちの研究と理解を深めるのに役立っています。

回答の中には論理的なもの（些細なものかもしれません）もありますが、より深い洞察が必要になって私たちの頭を悩ませるものや今後も継続的に質問すべきことを示すものがあります。しかし、私たちは、じかに得られる報告をレビューする楽しみを台無しにしたくないので、手を加えることはしません。

昨年までと同様、調査内容と報告の最新化にご協力いただいた検討委員会に感謝いたします。今回本当に良い改訂を行うとともに委員会のご指摘にもとづいて追加した質問を含めることができましたこと非常にありがたく思っています。私たちは毎年テストコミュニティの様々な方々にご協力をお願いしています。今回のテストの現状調査レポートの委員会はNermin Caluk、Derk-Jan De Grood、Bas Dijkstra、Brent Jensen、Helena Jeret、Maria Kedemo、Eran Kinsbruner、Kristel Krustuuk、Gerie Owen、Alan Page、Erik Proeglerの各氏で構成されています。そしてこのプロジェクトへのインプットと提案をしていただいているJerry Weinberg氏には今回も心から感謝いたします！

最後に、私たちは読者の方から、研究、ブログ、プレゼンテーションなどにこのレポートの情報を使ってよいかどうかをしきりに尋ねられます。答えは単純明快でYESです！この情報を使用し、同僚や仲間のみなさんとテストの現状調査レポートを広めてください。その際唯一お願いしたいのは、世界中のより多くのテスターがテストの現状調査レポートのことを知ることができるように、このレポートのリンクを参考資料として公開することです。これにより私たちのプロジェクトがさらにいっそう安定して代表できるものになります。

このレポートをお楽しみいただき、私たちの現実が実際にどのように形づくられているかの理解を深めていただければ幸いです。

テストの現状調査について

テストの現状調査は世界規模で行われている最大のテストの調査です。この調査は80ヶ国以上から1500人以上の回答者が参加することによって、テストの専門性と世界のテストコミュニティに関するもっとも正確な情報を提供することを目的にしています。毎年調査を実施し、現状と将来の動向を把握しています。著名なテストのブロガーやオピニオンリーダー（最後の協力者のリストをご覧ください）とともに実現した今回の調査は、テスターであるあなたに、世界のテスターや会社と比較して自身の専門性をよりよく理解し、現状と将来の動向に基づいてより良い準備をするための手助けをします。
私たちはテスターからのフィードバックをいつも嬉しく思っていますので、お気軽に連絡をください。
※ 昨年までと同様に、この調査報告を複数の言語に翻訳したいと考えています。あなたの国の言語に翻訳したい方がいらっしゃいましたら私たちにお知らせください。

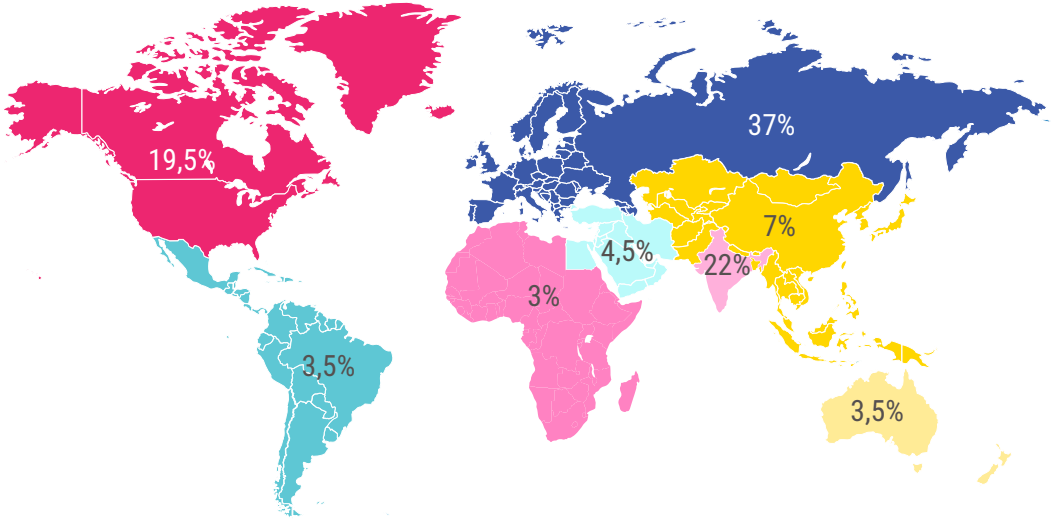
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

回答者の統計情報と専門性に関するプロフィール

地域

テスターと回答は世界中から



37%	ヨーロッパ（とロシア）
22%	インド
19.5%	USA / カナダ
7%	アジア（インド以外）
4.5%	中東
3.5%	オーストラリア / ニュージーランド
3.5%	ラテンアメリカ
3%	アフリカ

今年はヨーロッパ諸国のわずかな増加と同様に、より小さな地域からの割合がやや高くなり、回答者が多様化していることを嬉しく思っています。それでも、80%の回答者はヨーロッパ、ロシア、北米、インドに集中しています。

回答者の肩書き

テスト専門家の様々な呼び名

32%	テストエンジニア / QAエンジニア
24%	テストリード / マネージャー / ディレクター
12%	テスター / テストアナリスト
8.5%	自動化専門テスター
3.5%	チームリーダー
3.5%	コンサルタント
3%	ソフトウェアエンジニア
2%	テスト開発者 / SDET
1.5%	テスト設計者
1.5%	プロジェクトマネージャー
1%	パフォーマンステスター
1%	テストコーチ
0.5%	DevOpsエンジニア
<0.5%	一体化したチームのエンジニア（※）
6%	その他

【日本語翻訳チームコメント】
※）一体化したチームのエンジニア：開発とQAを独立せずに同じビジネスゴールを目指して一体化したチームのエンジニア。原文はCombined / Unified Engineers。

※）モダン・テスティング：Alan Page氏とBrent Jensen氏がモダン・テスティングの原則を提唱しています。[Modern Testing Principles] https://www.angryweasel.com/ABTesting/modern-testing-principles/

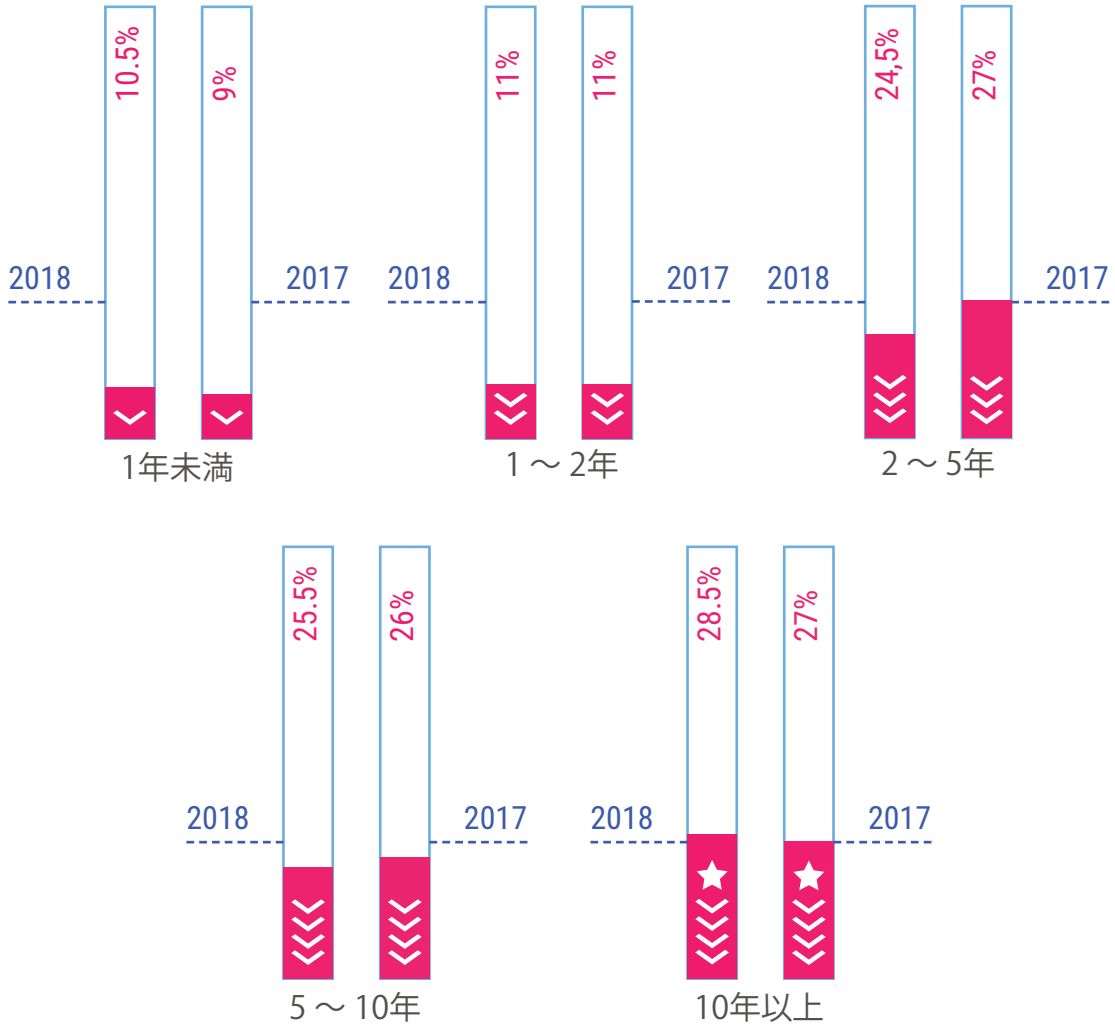
今年はコミュニティで使用されている肩書きを使うことで、もう少し正確さを上げようとしました。そのため、テスト開発者やテストコーチなどの追加の定義を導入しました。それでも昨年同様に、多くの回答者は自分の肩書きをテスター / テストアナリスト、次いでテストリード / ディレクターと答えています。開発とQAの一体化エンジニアリング（Unified Engineering）やモダン・テスティング（※）に向かう将来のトレンドがチーム内の肩書きの分布に変化をもたらすかどうかは注視したいところです。
「その他」の中には、PMO、スクラムマスター、数人のエバンジェリスト、数人のツール職人、データサイエンティストのマネージャー、病理学者のソフトウェアテスター（少し気味悪いですね）などの回答がありました。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

ソフトウェアテスト分野での就労年数

テスターになる人が増え、テスターを続ける人も増えています。



今年は2年から10年の経験を持つテスターが少なくなった反面、新しいテスターと経験豊富なテスターが増えました。それでも、これらの違いは重要ではありません。
ここでは2つの重要な傾向を見ることができます。一つは、新しくテスターになる人の流れが依然として強いことです（今後も増加するかもしれません）。しかし、私たちはテスターが長年この分野にとどまり、うまくすればその過程で専門的技術を得たり、テストスキルを洗練させたりしていることも知っています。
今年の数値を細かく見ていくと、昨年と同じように、大企業では経験豊富なテスターを抱える傾向にありますが、小規模企業では経験の少ないテスターにも門戸を広げて採用しているようです（テスターになりたての人やテスターを最初の職として考えている人のためのTIPS）。

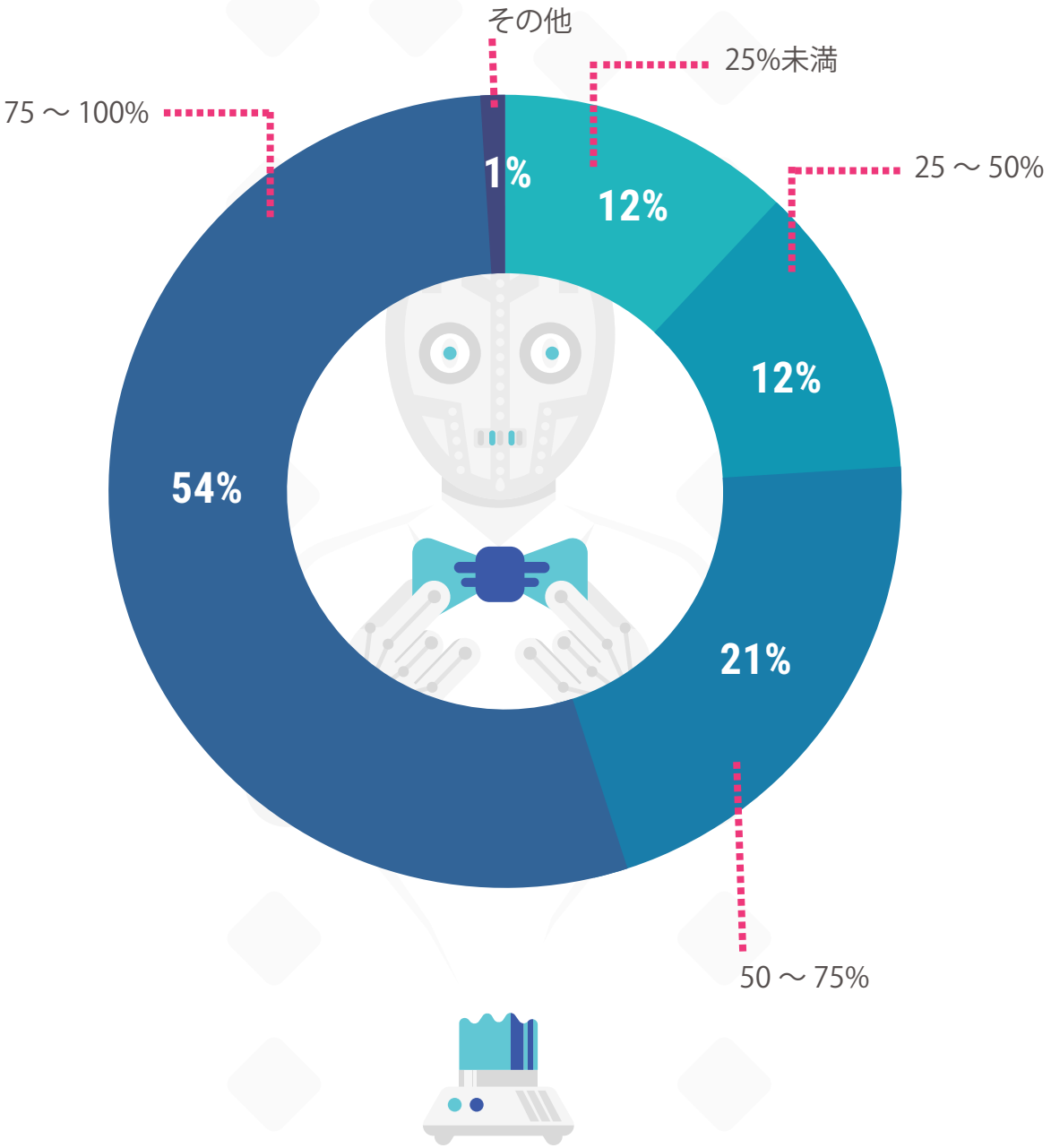
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

仕事の中のテストの割合

テスターはテスト以外の作業にも時間の一部を使っています。

これは新しい質問になります。組織がチーム内のテストの位置づけをどのように定義しているのか、つまり組織内にテスターを配置した時代から離れようとしているかどうかについてさらに情報を得るためのものです。
少なくとも現時点では、回答者の大多数は少なくとも50%の時間をテストに割り当てられていることが分かります。しかし、将来的にこの回答で傾向が生じるかどうかを確かめるのは良いことでしょう。
「その他」の回答のほとんどは、学生またはテストの仕事を始めたばかりのテスターからでした。



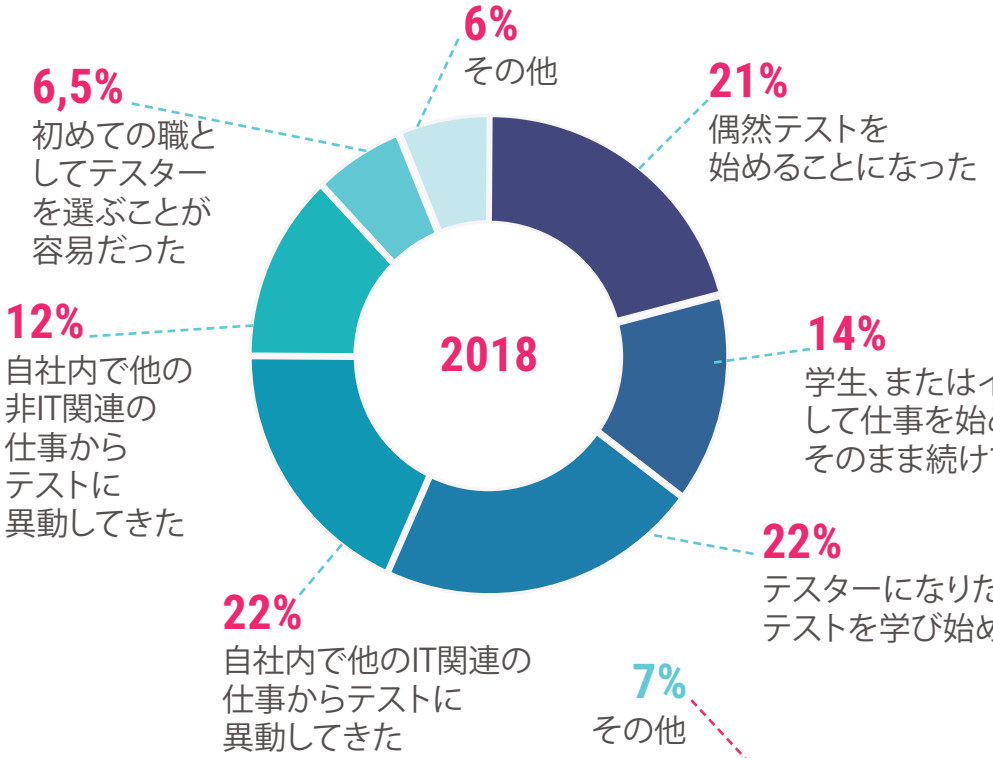
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

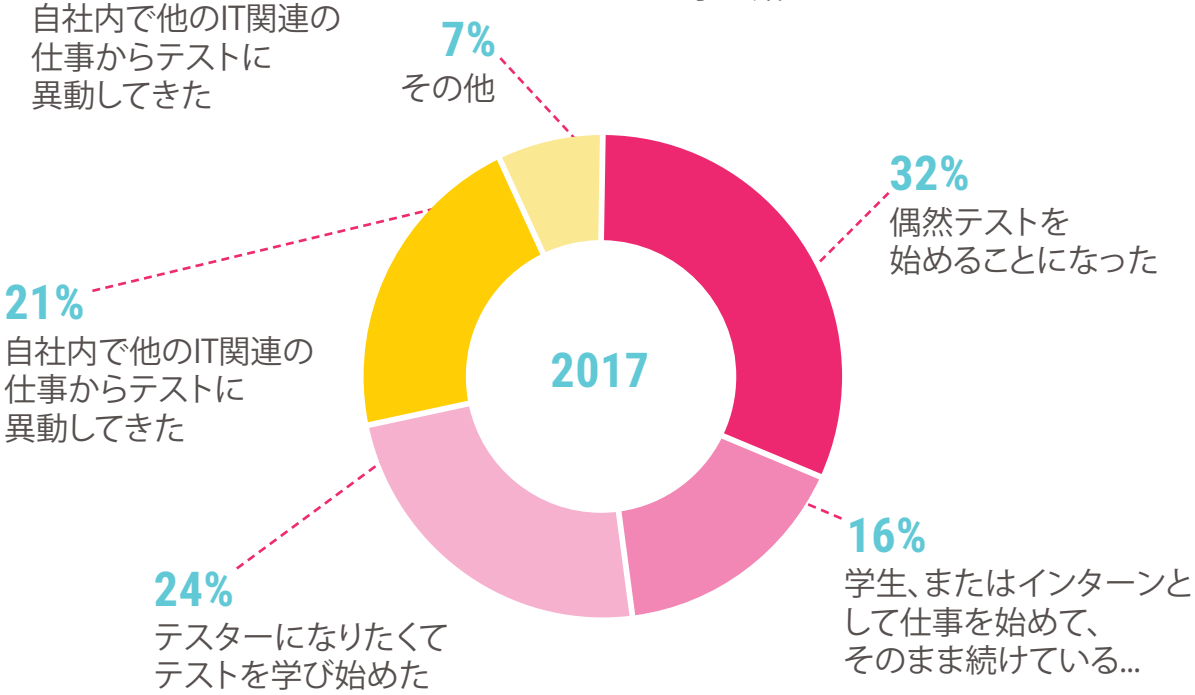
Sponsored by PractiTest

テスターとなった理由

よくある理由は他の仕事からの異動です。

偶然にテストを始めた人がかなり少なくなっていますが、これは"初めての職としてテスターを選ぶことが容易だった"という新しい答えを追加したことと関連しているかもしれません。
一方で、ITと非IT関連の両方において、企業内の他の仕事から移ったと回答した人が増えており、テストは人材の興味深いキャリアアップの方法のように見えます。
「その他」の回答では、不況の中でも元プログラマーであればテスターの仕事を見つけるのが最も簡単というのがかなり多く、IT分野に行くためにはテストが最良で最も容易な方法という人もいました。また、ある人たちは「パワーゲーマー」になった後、そのゲームの会社のテスターになったと回答しています。そして、自分が使っていた製品の品質を切に向上させたかったからと回答した人も結構いました - いい心意気ですね!!



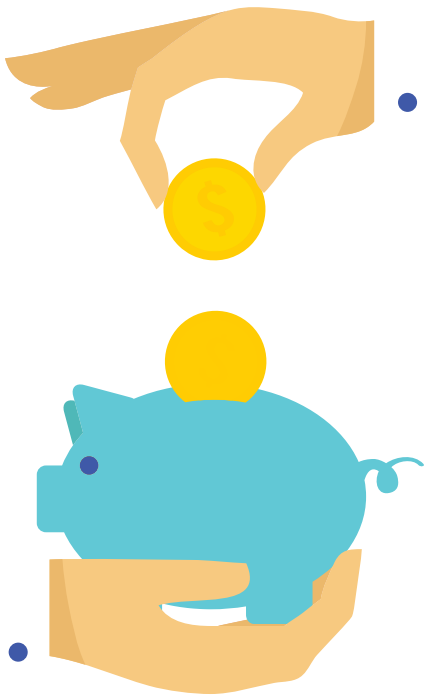


© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

テスターの給与

いくら稼げるかは国と経験によります。



	> 1年	1 - 2	2 - 5	5 - 10	10 +
アフリカ	5	16	16	26	46
アジア	5	22	34	40	53
中国	NA	5	13	41	57
インド	10	19	19	34	51
ラテンアメリカ	9	NA	18	32	48
東ヨーロッパ / ロシア	10	13	19	28	34
西ヨーロッパ	37	34	50	62	80
中東	9	28	55	58	103
オーストラリア / ニュージーランド	40	40	68	79	110
USA / カナダ	40	48	68	87	107

※ 給与の単位は1000米ドル、もしあればボーナスや臨時収入も含む。
※※ NA - 意味ある情報を提供するための十分なデータが得られず。

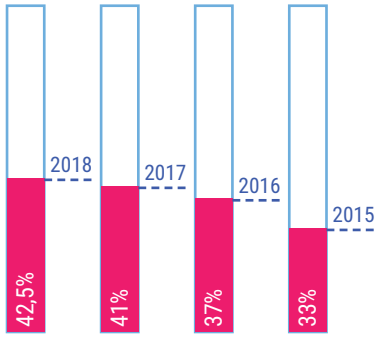
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

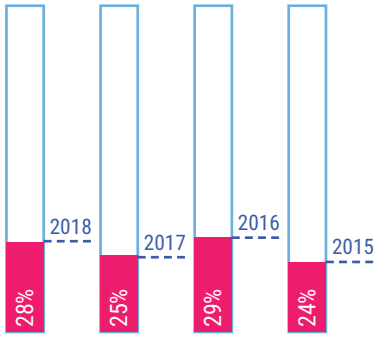
組織におけるテストの部門

テストチームの組織上の位置づけ

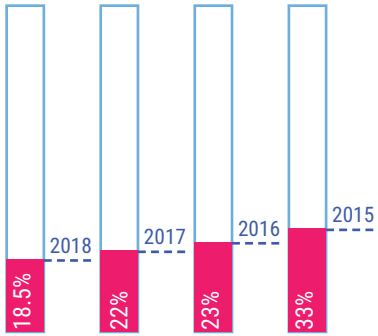
テスト部門レポートは誰に報告しますか?



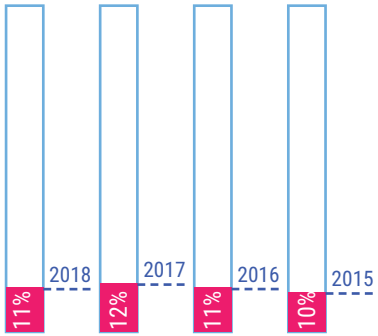
プロジェクトマネージャー



開発マネージャー



品質担当重役 / 品質担当部長

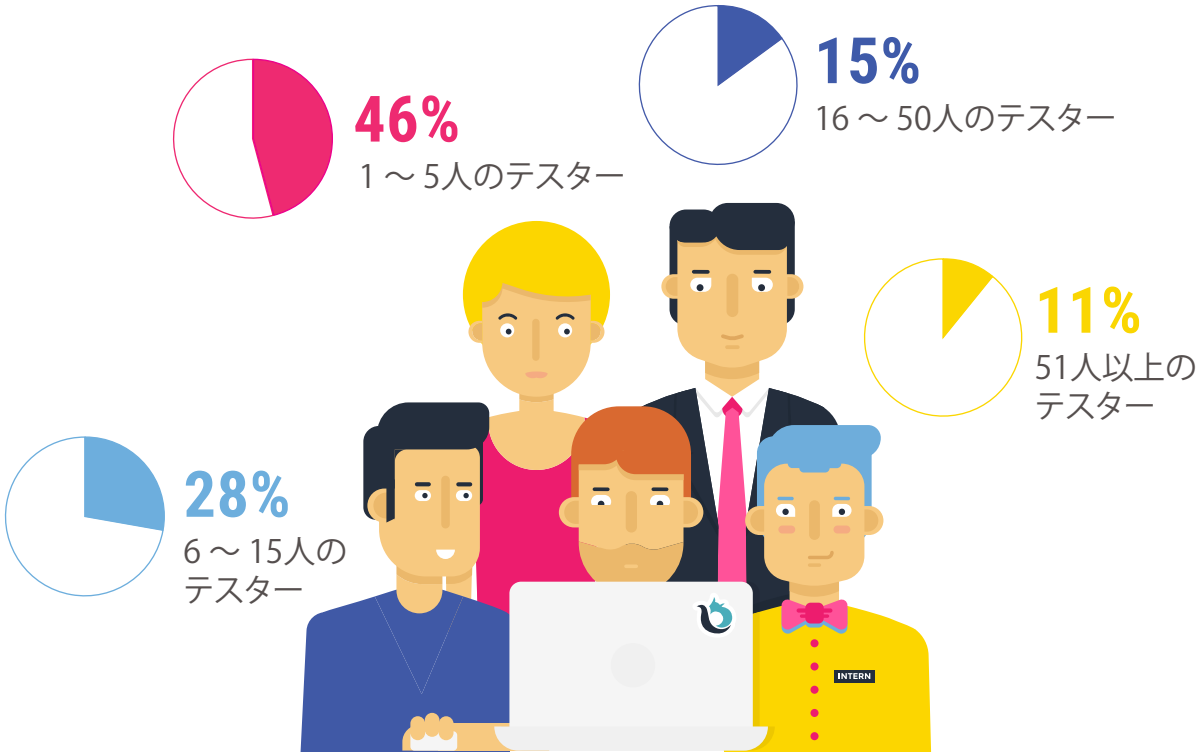


CTO / CIO

もう1つの明確な傾向として、テスターが組織内で独立した品質部門に報告することが少なくなり、プロジェクトマネージャーや、場合によっては開発マネージャーに報告するようになってきたことがあげられます。これは、一体化したチーム(Unified team)あるいはアジャイルのチームの中でテスターがより有機的な役割を担うようになり、チームの構造が変化していることを示しているのかもしれません。

テストチームの規模

テストチームは小さくなっています。



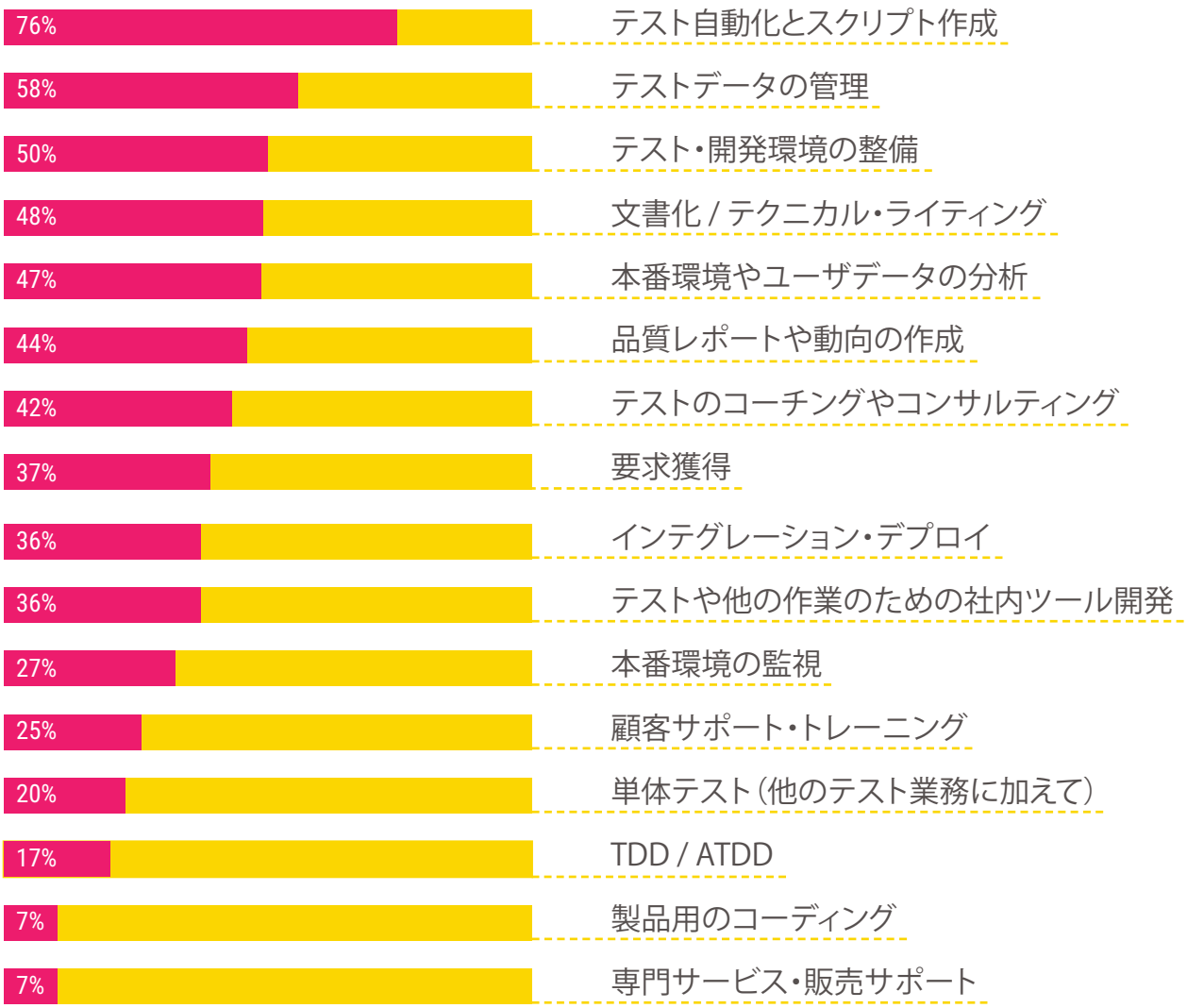
年々テストチームが小さくなっているという昨年までの傾向が続いています。2年前は15人以下のテスターのチームで働いているのは回答者の60%でしたが、昨年は70%、今年は回答者の74%となりました。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

テスターの他の作業

テスターは単にアプリケーションをテストしているだけではありません。



複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

テスターが対応している他の作業の中には、興味深いものがいくつかあります。例えば、環境の整備（これは過去数年同じ傾向です）、本番環境やユーザデータの分析、テストのコーチング、および本番環境の監視です。
コーチングやコンサルティングなどの作業は大企業で、技術文書の作成は中小企業で多く見られます。「その他」の回答には、プロダクト・スコープ、コードレビューの実施、要件の明確化など興味深いものがいくつかありました。
この傾向は、作業がテストに限らないものに多様化していることを明確に示しており、私たちの業務の更なる多様化を促進するだけでなく、プロフェッショナルとして、テスト、特に機能テストにおいて単一の専門性だけでやっていけるのか考え直す必要性を示す指標にもなっています。

私にとってどんな意味があるの？
自身のキャリアアップのために、あなたがチームと会社に提供できる価値を高められる他の作業を考えたくなるかもしれません。これらの作業の中にはテストに非常に近いものがあるかもしれませんし、かけ離れているものもあるでしょう。しかし、これらはすべて必要とされる価値を提供するものです！

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

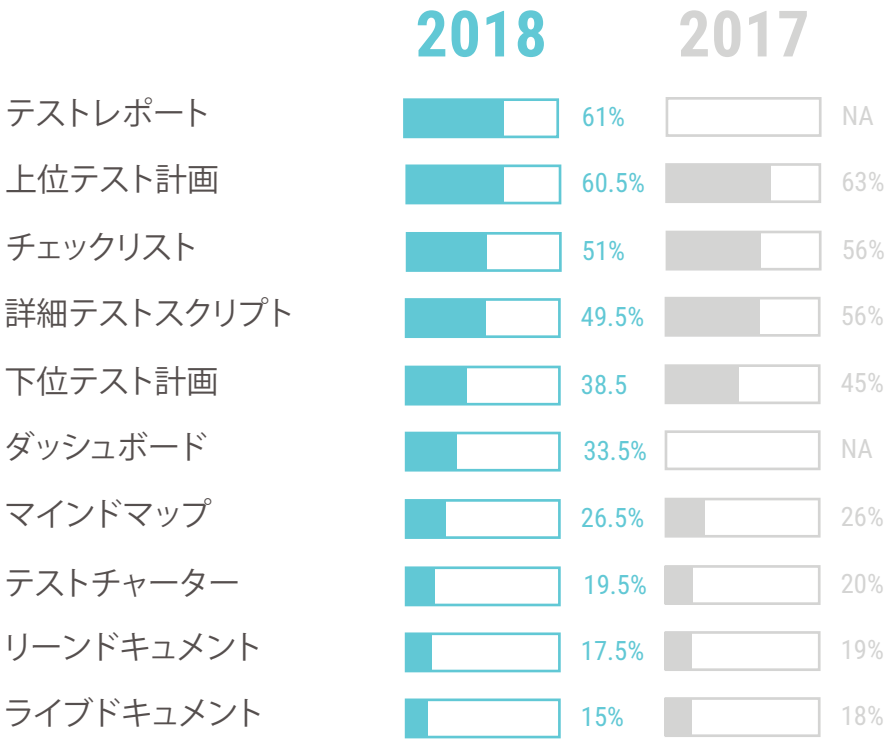
Sponsored by PractiTest

テスト文書

今年はテスト文書のリストにテストレポートとダッシュボードの2つの新しいカテゴリを追加しました。やはり、テストレポートは回答のトップに躍り出て、ダッシュボードは中間の妥当な順位になりました。

全体として、公式に書かれるテスト文書の量が減少し続けていることが分かります。業界全体でテストを合理化する必要性を示しています。

「その他」の回答には、フローチャート、リスクアセスメント文書、テストマトリックス、テスト方針文書がありました。



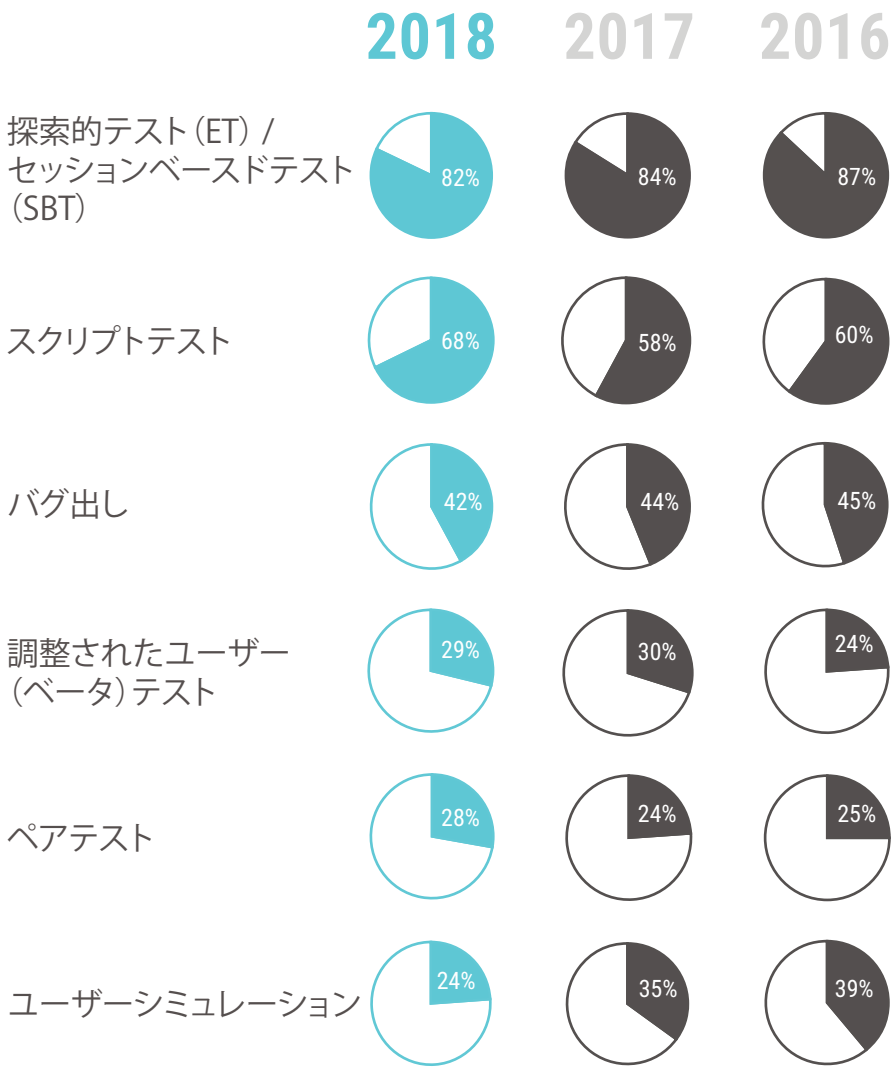
複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

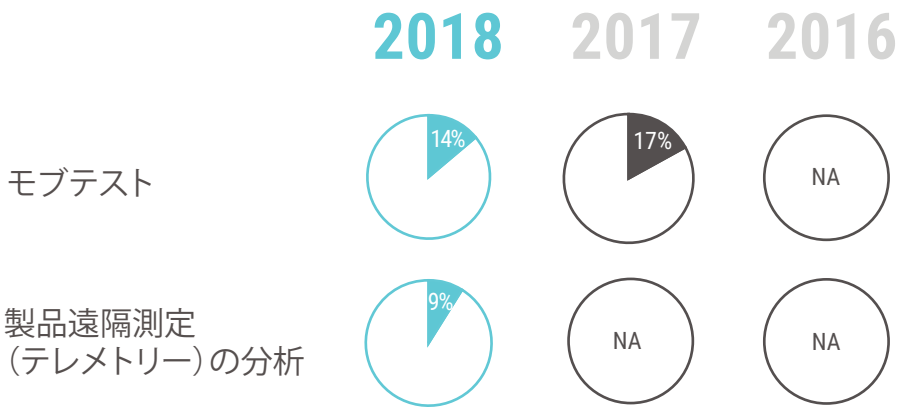
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

テストのアプローチと方法論

スクリプトテストが復活しているのでしょうか…?





ET / SBTが少し減少していますが、依然として大差をつけて人気のあるテスト方法となっています。驚いたのは、昨年減少し始めたスクリプトテストを実行している人の割合が、その傾向を続けることなく10%上がったという事実です。

また注目すべき2つの興味深い点は、重要な方法としてペアテストが増加（回答者の4分の1近く）したことと、新しい回答の選択肢である製品遠隔測定（テレメトリー）の分析を回答者の9%がどのように使用しているかです。

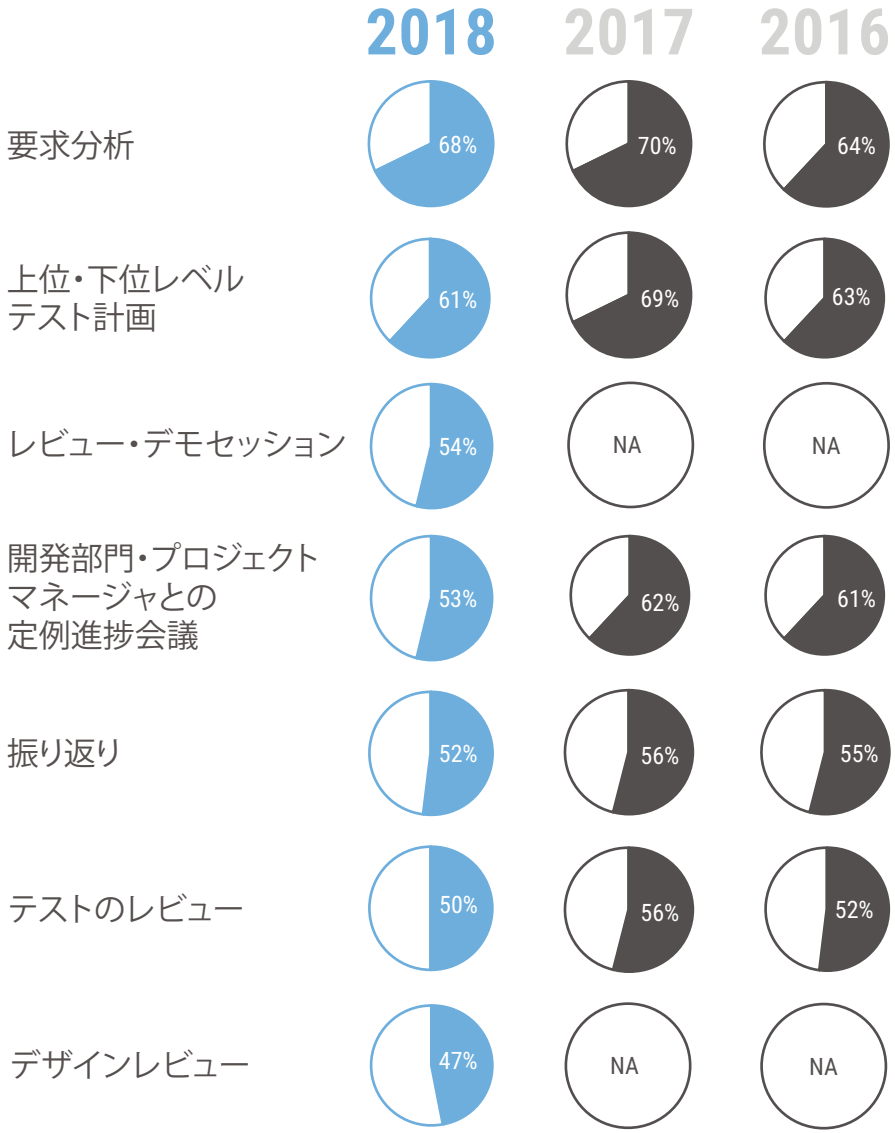
複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

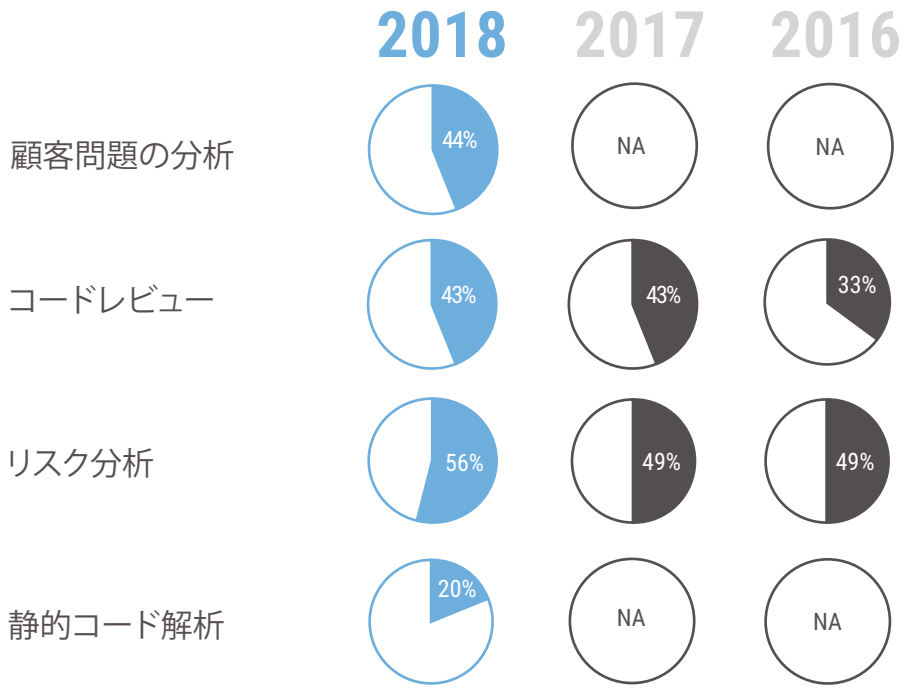
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

静的テストの活動

静的な活動への投資が増加しています。





この質問とその答えには興味深い点がいくつかあります。
まず、少数の例外を除いて、すべての静的テスト活動が全面的に頻繁に使用されていると報告されています。私たちは来年以降も、この傾向を精査し、その背後の理由について深く検討しようと考えています。

私にとってどんな意味があるの？

テストのアプローチは相互に補完し合い、より効果的かつ効率的に適用範囲を網羅するのに役立つのでそれらをを組み合わせることが必須です。製品の欠陥を減らすもう1つの方法はそれらを防止することであり、ここで述べた静的活動はキーとなる活動です（いささか活用されていませんが）。

複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

テスターがこなす非伝統的な作業

会社のさまざまな分野に価値を加えています。

私たちは、テスターの言いたいことが直接分かる自由回答形式の質問をするのが好きです。この質問の目的は、伝統的にテスターが行っていない活動に回答者が携わり始めているかどうかを確認し、私たちの責任が他の分野にも移りつつあるのかを理解することでした。

明らかにその傾向はあります！特に興味深かった回答は：

“

テスターはユーザーストーリーを書くのを手伝っています。また、ストーリーの優先度付けにもかかわっています。

GDPRの実装（※）

プロダクトオーナーの役割

お客様への説明

ベータ版のお客様のサポート

モックアップの作成

リリース管理の調整

プロセスの管理とボトルネックの解決

製品の翻訳

コーディング

動物園の飼育係！：個人的にお気に入りの回答です。

【日本語翻訳チームコメント】
※）GDPR：
EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation）はEUの個人データ保護を目的とした管理規則であり2018年5月25日から適用が始まりました。

”

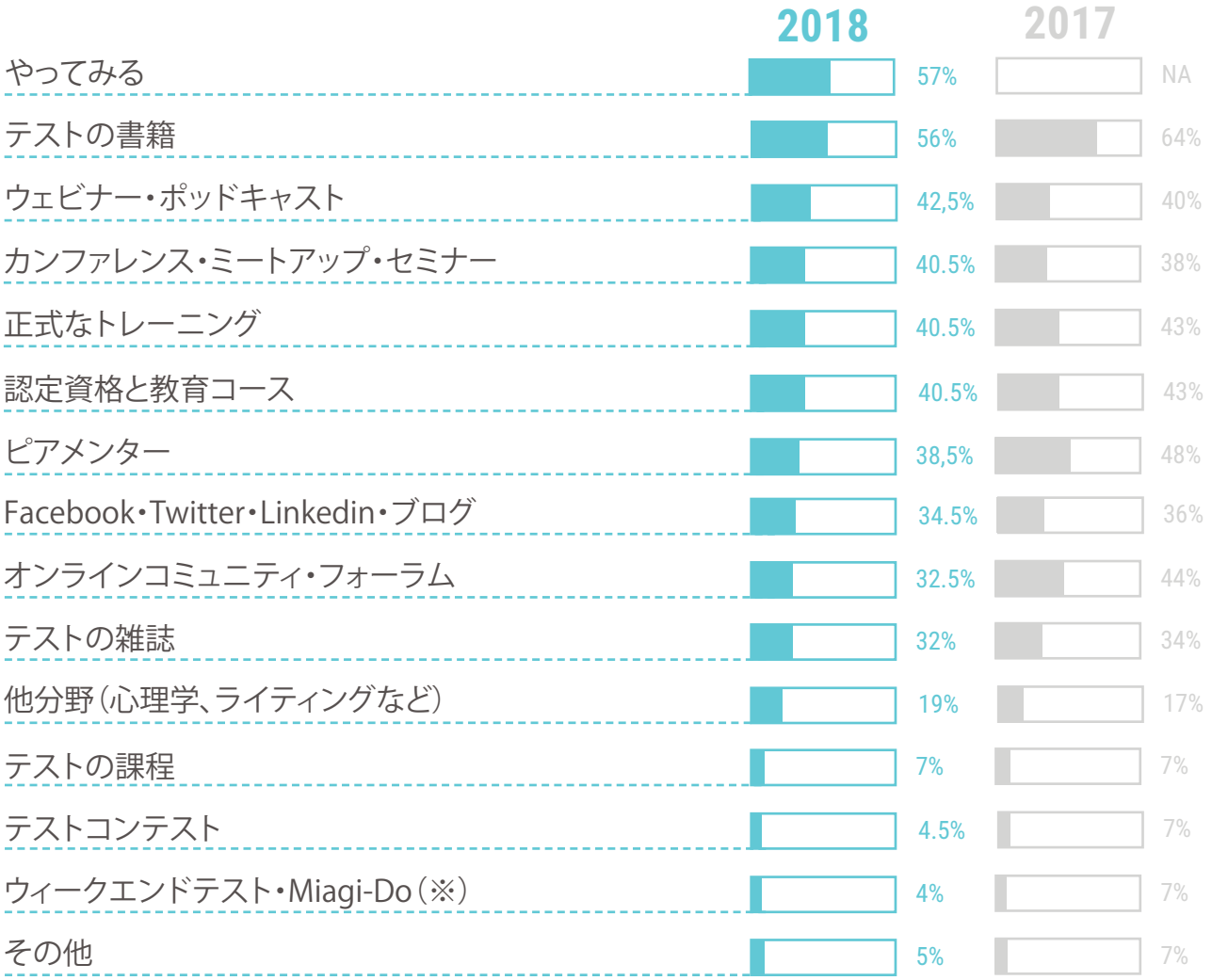
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

トレーニング、スキル、成長

自分達のスキルを磨くための知識ソース

学習に使っているものを複数選択した上で、最も重要と思うものを1つ選択してください！



複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

今回から「やってみる」の項目を追加しましたが、57%の回答者の選択によりこの項目がトップとなりました。それでも、この項目を選んだ回答者が100%でなかったことはある意味本当に驚きで、やはりプロフェッショナルとして私たちは自身の失敗や成功から得られた教訓に基づいて常に学習し改善し続けるべきです！そう、正に思考の糧…
2位は「テストの書籍」でしたが、昨年から8%減少しました。続く「ウェビナー・ポッドキャスト」は昨年の40%から42.5%に上昇しました。最近になって業界で高品質なポッドキャストが増えていることが「ウェビナー・ポッドキャスト」の利用に拍車をかけているのかもしれません。
今回の調査では、ほとんどの項目の値が減少しました。これが1つの傾向なのか、それともこの調査の何らかの外部／内部要因によるものなのかは分かりませんが… この点については引き続き検証する必要があります。
「その他」の項目について、いくつか興味深い回答がありました。「Udemy（※）」、「クラウドソーシングプロジェクトへの参加」、「他のテスターへのコーチング」、「Slackグループ」、「開発者との協働」、「オープンソースプロジェクトへの参加」といったものです。

私にとってどんな意味があるの？
テストについて新しいことを学ぶためにカンファレンスや教育コースに参加したい場合、テスターは何回もマネージャを説得する必要があります。カンファレンスは学習できる重要な場ですが、唯一の場所という訳ではありません。インターネット上に溢れる無料で利用可能なたくさんの情報を活用できていない人も多いです。

【日本語翻訳チームコメント】
※）Miagi-Do：
Miagi-Doの由来はご存知ですか？名前は映画ベスト・キッド（The Karate Kid）で主人公の少年に空手を教える日本人の老人のミヤギさんから来ています。Doは「道」です。欧米ではテストやソフトウェア開発の手法の用語として、型（kata）等の日本語用語が使われたりしています。
（http://www.shino.de/tag/miagi-do/）

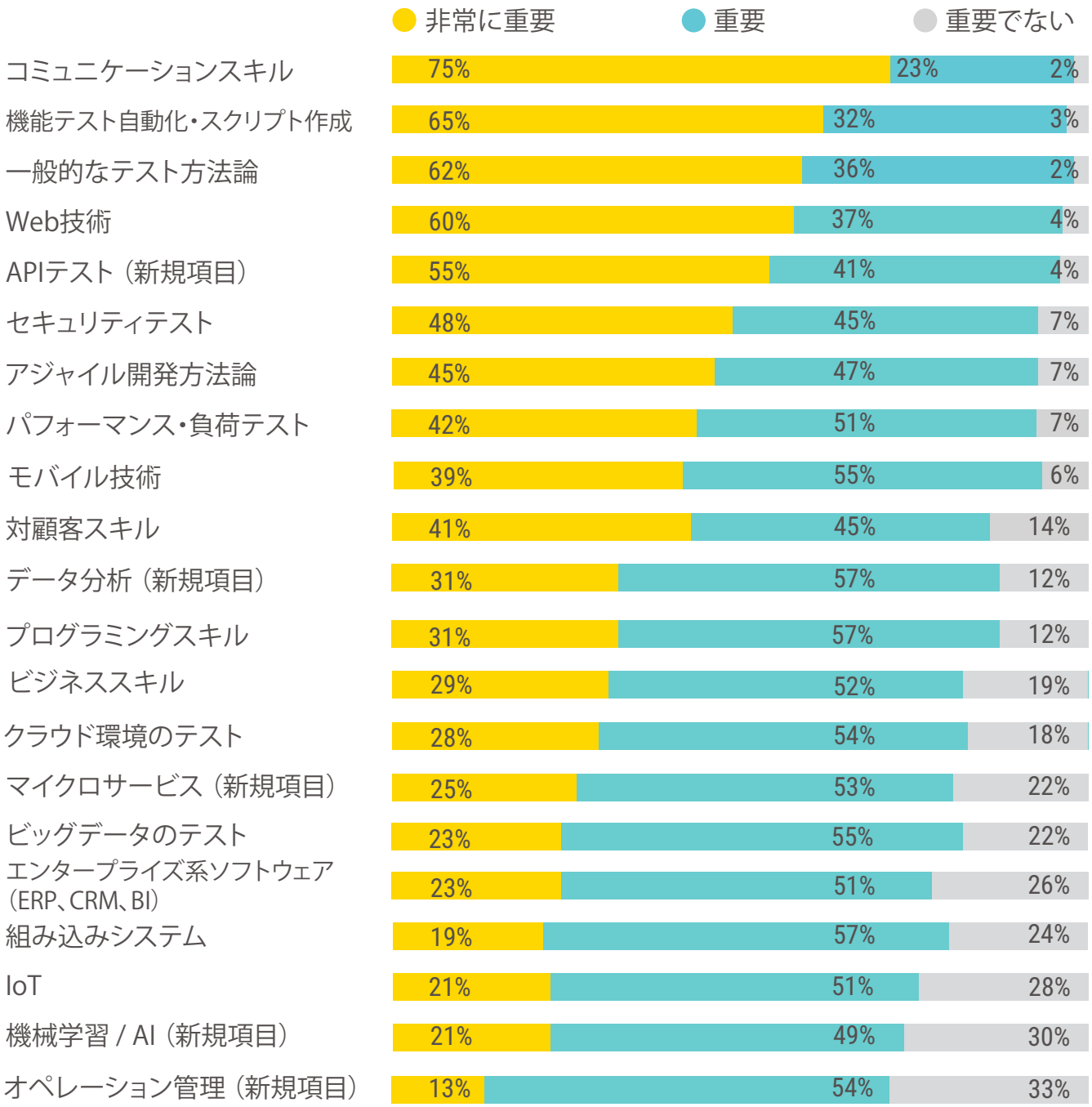
※）Udemy：
誰でも先生になって自分の講座をインターネット上に公開できる教育プラットフォームです。英語が中心ですが、11の言語に対応しており、日本語の講座も公開されています。
（https://www.udemy.com/）

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

良いテスターになるためのスキル

結局のところ、テスターが最も必要と考えるスキルは過去2年と比較してほとんど変化していません。「コミュニケーションスキル」はもちろんのこと、それに続く「機能テスト自動化・スクリプト作成」、そして3位の「一般的なテスト方法論」が全てのテスターにとって必要であることは疑いようがありません。
なお今回より、私たちの検討委員会や過去のレポートからのフィードバックに基づいて、スキルのリストにいくつかの新しい項目を追加しました。これらの「新入り」のいくつかは、他のスキルに比べて相対的に高く位置付けられていることが分かりました。その中で最も注目すべきは、5位の「APIテスト」と11位の「データ分析」です。
回答者により提案されたその他のスキルの中には、「クリティカルシンキング（多数の回答者が言及）」、「時間管理」、「適応性」、「共感力／顧客視点」といったものがありました。



© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

これが参加する価値のあるテスト系カンファレンスやイベントです！

どなたにとっても、そして大抵どこにいても、気に入るものが見つかるでしょう。

OnlineTestConf

ASTQB Summit

JaSST

STP Conf

Selenium Conference

HUSTEF

CAST

TestBash

StarEast

StarWest

AgileTestingDays

Agile DevOps East

Automation Guild

ANZTB

StarCanada

SauceCon

QualityJam

Eurostar

Let's Test South Africa

heisenbug-moscow

WeTest Conference

Romanian Testing Conference

COMAQA

QA&Test

Expo QA

GTAC

QA or Highway Conference

Nordic Testing Days

qa: challengeaccepted

Tabara de testare

QA Fest

TestIstanbul

Test Leadership Congress

PNSQC

copenhagen Context

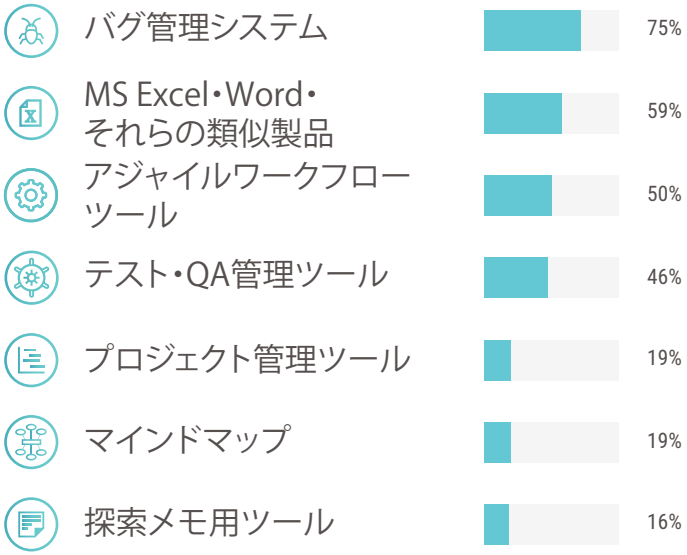
National Software Testing Conference, (UK)

私にとってどんな意味があるの？
近くで開催されている無料のイベントを探して参加してみましょう。そこで得られる非常に高度な情報に驚くことでしょう！ カンファレンスに全ての人が参加できるようにした、オンラインのイベントも数多くあります。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

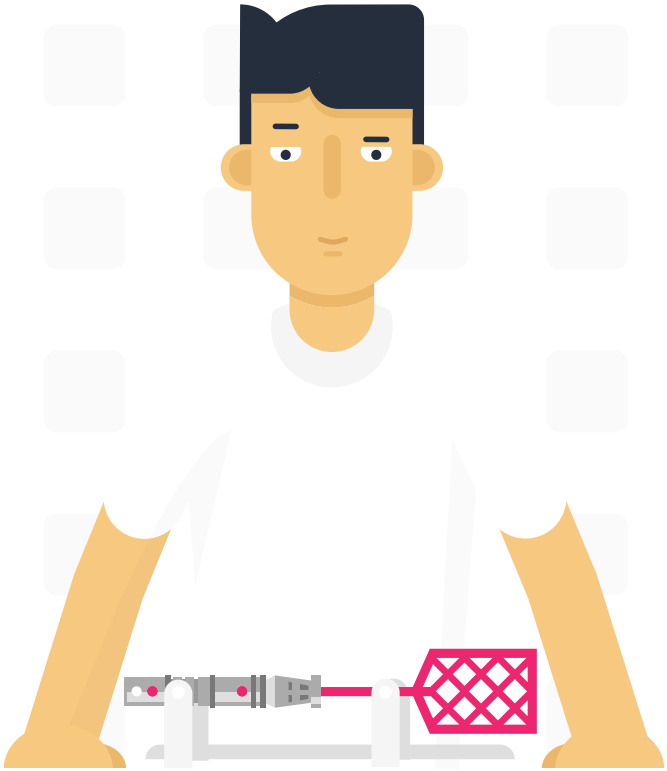
テストプロセス

テストの管理に使われるツール

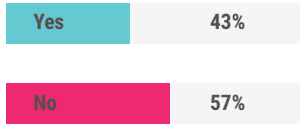


複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

「その他」の回答の中には、多くの人がGoogle docsやWiki ページを使用していることが見て取れました。昨年のフィードバックを元に、今年は「マインドマップ」のカテゴリを追加したのですが、20%近くがこの種のテスト計画／マネジメントメソッドを使用していると回答しました。



新しいテストツールの採用



この質問を設けて2年目になりますが、昨年は56%の回答者が前年中に新しいツールを導入していました。図を見ると、今年は43%に下落しています。この回答を継続してレビューし、今後の傾向を探る必要があるでしょう。

どのようなツールを使い始めたかを自由回答形式で質問したところ、以下のようなツールが挙がりました：

- テスト管理
- BDDツール
- 自動化（多くの方々がSeleniumを使い始めていました）
- 負荷テストツール
- CI（継続的統合）フレームワーク

そしてBrowserStack、ETツール、モニタリングツールなどといった新しいツールも挙がりました。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

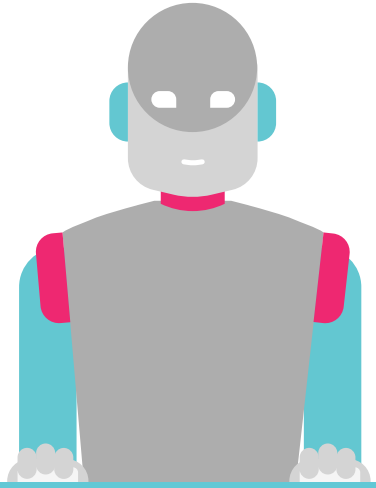
テストされている技術

多くの技術が並行してテストされています

Web	79%
モバイル	57%
デスクトップ	44%
社内開発システム	30%
商用エンタープライズシステム	29%
アプリのセキュリティ	26%
レスポンシブ / プログレッシブ / アダプティブ（※）	25%
マイクロサービス	24%
ユーザトラッキング・データ分析	23%
サンドボックス、Kubernetes、Docker等	19%
医療 / ヘルスケア	17%
セキュリティ / サイバーセキュリティ	16%
AI / 機械学習	12%
IoT	10%
VR（仮想現実）/ AR（拡張現実）	4%
シンセティックモニタリング	3%
暗号技術	2%
暗号通貨	1%
その他	7%

複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

【日本語翻訳チームコメント】
※）レスポンシブ / プログレッシブ /アダプティブいずれもWebデザインの手法です。



この質問をし始めたのは、テスト対象のテクノロジーの動向のマッピングを開始し、それらが私たちのテスト方法にどのような影響を与えているかを確認するためです。他の興味深い回答には、ネットワーク、WIFI技術、音声起動アプリ、組み込みシステム、メインフレームシステム、バンキングアプリ、IPTV、ゲーム製品、交通システム、チャットボット、ロボット、そしてかなりすごいものとしては天文学関連ツールといったものがありました。

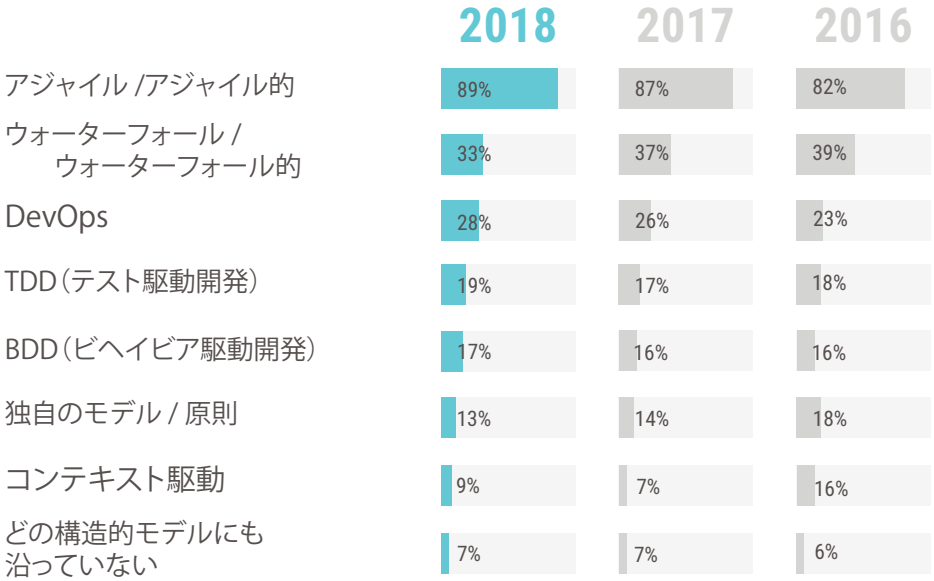
私にとってどんな意味があるの？
テスターがあるタイプのテスト、おそらく一つか二つの技術を専門にする必要があった時代がありました。しかし、これはもう昔の話です。現在のテスターは多才になる必要があり、仕事をするために必要な新しい技を常に学ぶことができなければなりません。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

開発モデル

アジャイルがほぼ一般的になり、DEVOPSがじわじわと広まっています



アジャイルの導入はほぼ万国共通と言えるものになっており、90%の回答者が所属する組織で何らかのアジャイルプロジェクトで働いています。年々この傾向が収斂してきていることが見て取れます。
それでも回答者の3分の1は、ウォーターフォールの使用が着実に減少している中で一部のプロジェクトではまだこのアプローチを使用していると回答しています。

DevOpsは以前よりはペースが落ちましたが、増え続けています。今年は回答者の28%に達し、この質問を開始した3年前の14%、2年前の23%、去年の26%の増加に続いています。
その他の興味深い回答として、「バズワード駆動開発」、スクラム向きのカオス（混沌）そして過去の記憶を飛び散らせる回答：RUP（Rational Unified Process）等がありました。

CIとCDはゆっくりと

40%
全てのプロジェクトで採用

36%
いくつかのプロジェクトで採用

18%
非採用

4%
CI / CDって何？

2%
その他

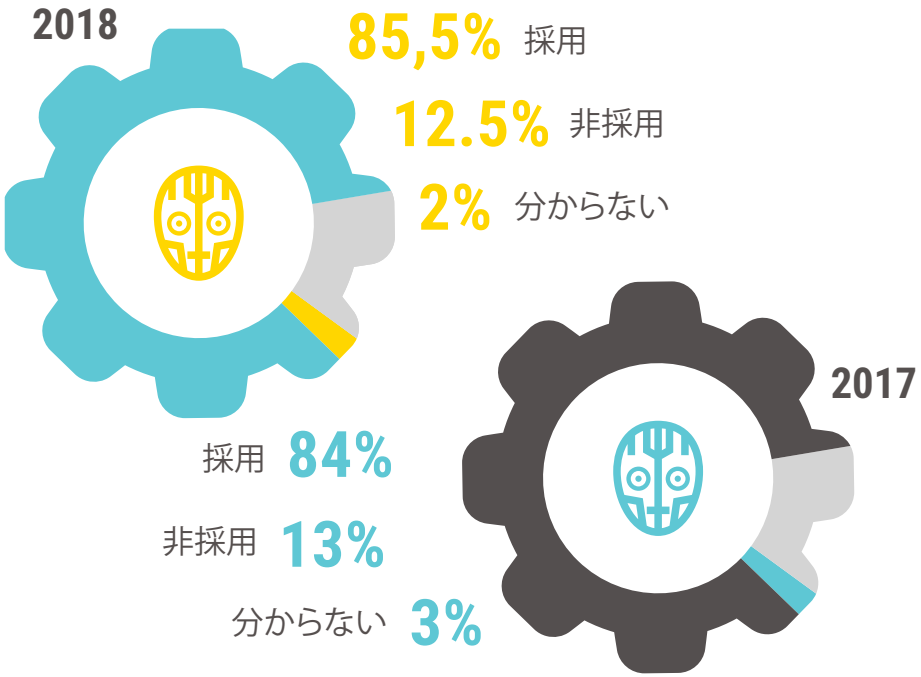
回答は多かれ少なかれ安定しており、CIを扱う組織の割合はほぼ同じであることが示されています。「その他」を選んだ2%のほとんどが、CIプロセスを実装している最中であると回答しています。
そしてついにCI / CDを知らないとの回答が去年より1%下がり4%となりました - 人間性への信頼を保てています（少なくとも今のところは!）

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

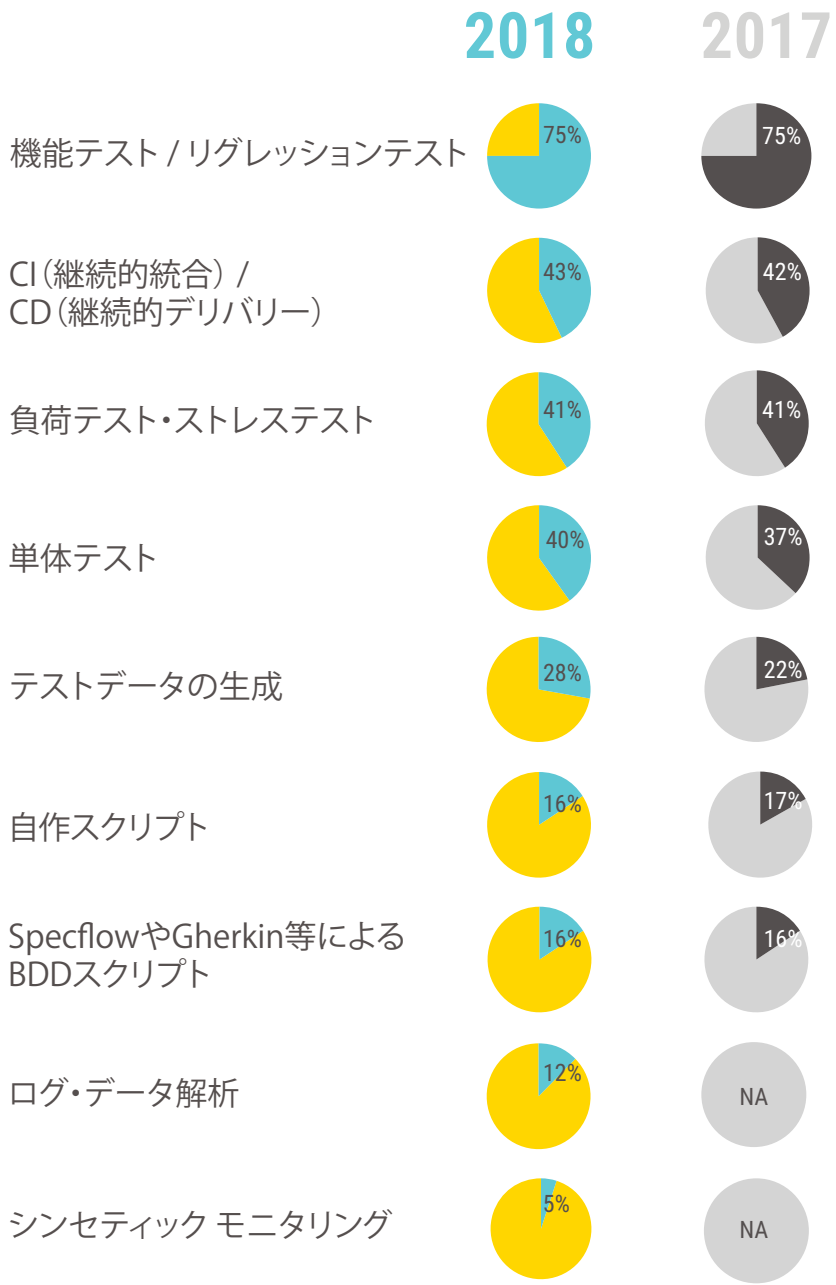
Sponsored by PractiTest

自動化の状況

自動化はもはや機能テストだけのものではありません



興味深いことに、自動化を採用しているテスターや組織の割合は昨年とほとんど変わらず安定を保っています。採用の割合は高く、自動化を奨励しています。



複数選択した回答者がいるため合計は100%を超えます。

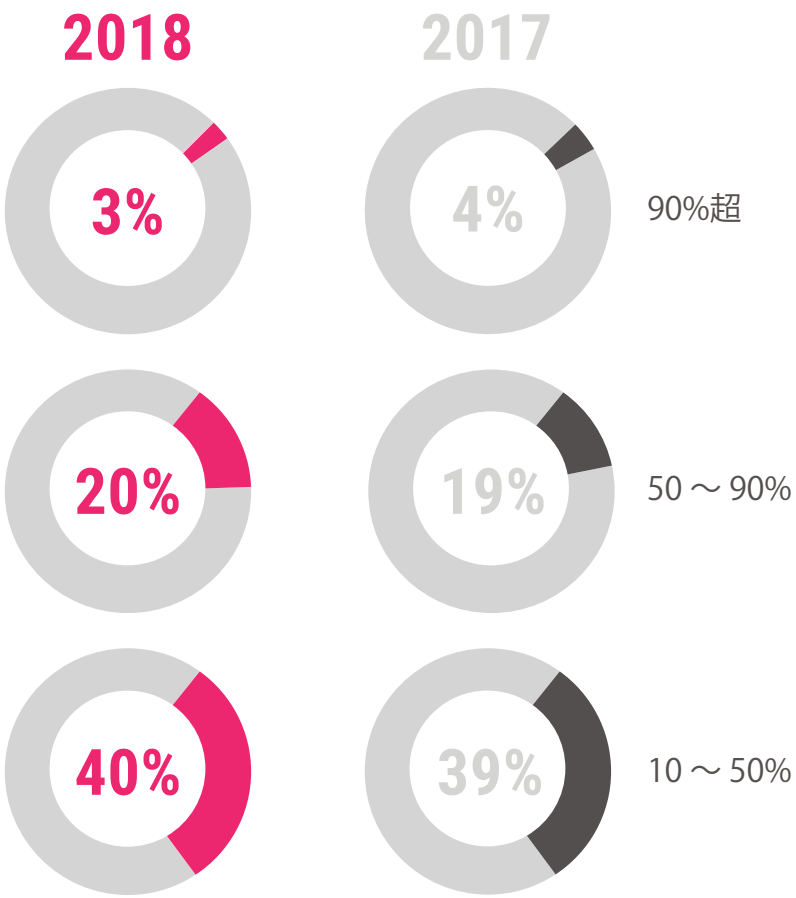
© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

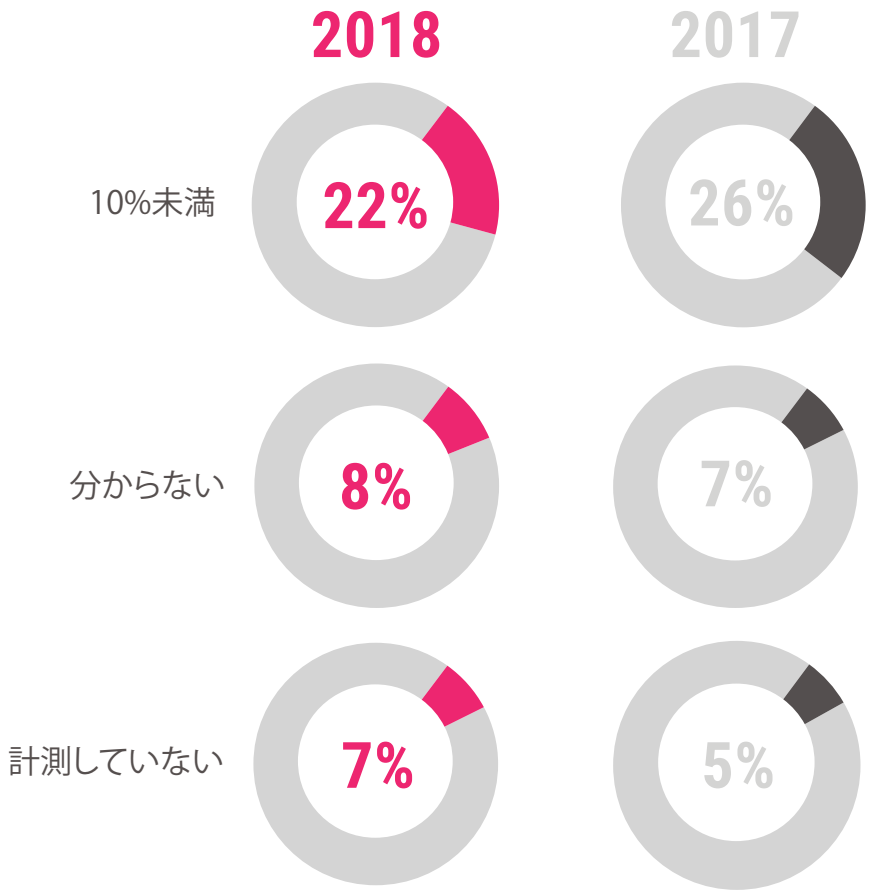
Sponsored by PractiTest

自動化の状況

自動化はもはや機能テストだけのものではありません

昨年同様に何パーセントのテストケースが自動化されているのかを質問しました。回答は去年とそれほど変わるものではありませんでした。





私にとってどんな意味があるの？
機能的な自動化に直接は関係しないスクリプト化の作業は多いです。作業効率化のためにツールを使用する方法を検討してください。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

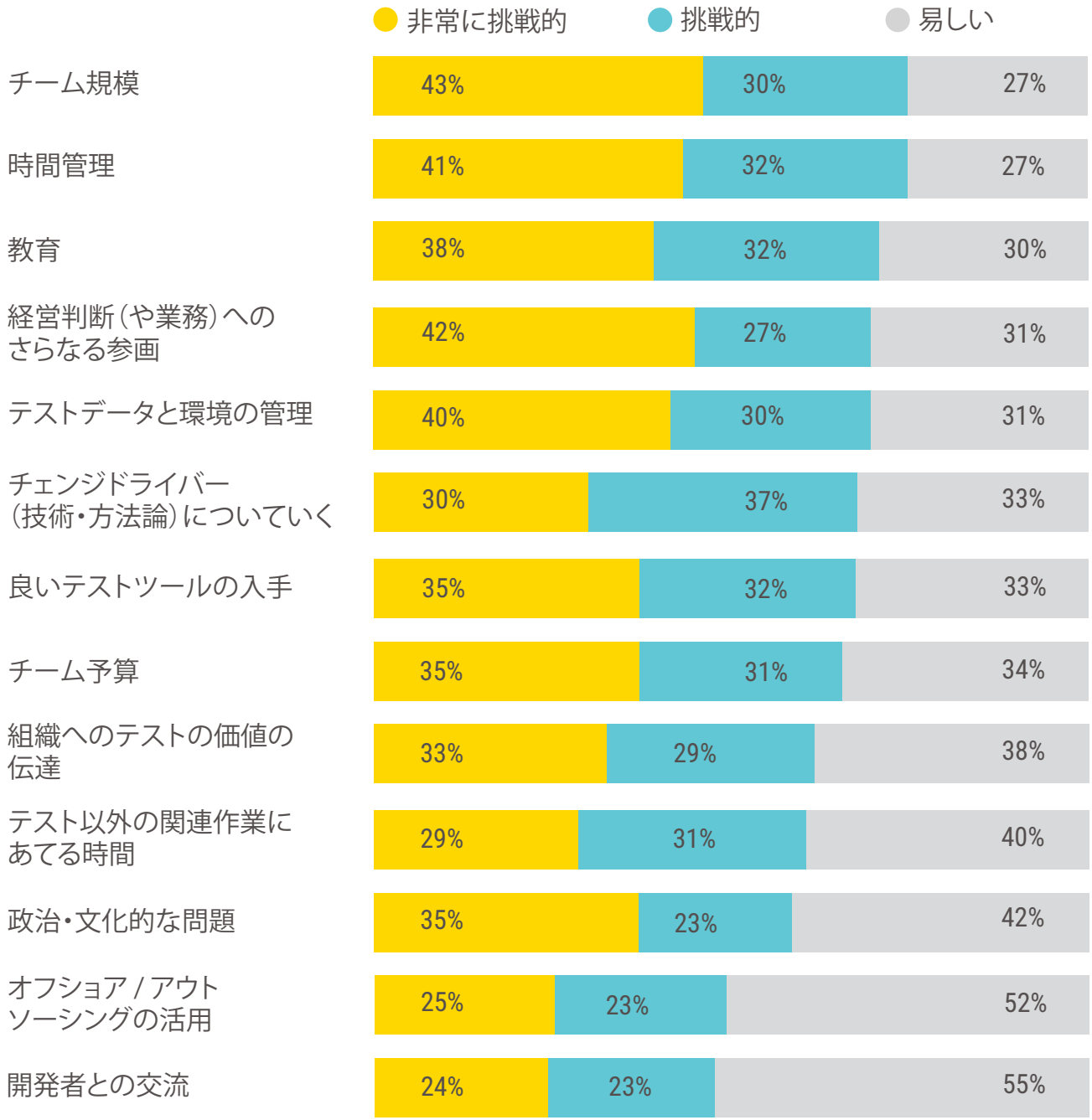
Sponsored by PractiTest

テストの現状と将来

テストチームが抱える課題

絞りきれないほど多くの解決すべき課題があります。

"その他" の回答：FDA規制要件、劣悪な仕様、プロセスの欠如、チームメイトの態度、CI / CDへの手動テストの適応、より多くのドメイン知識を獲得すること、異なるゴールを基にした各々のチームワーク、同じコードベースで作業する複数のチーム、急成長による課題、組織内で単独のテスター、テストに関する一般的な理解の欠如、変化への抵抗、テストがスキルが低い仕事であると思う人々の考え方を変えること。



© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

テスト方法の変化

作業方法を変えていかないと、すぐにでも仕事を失うかもしれません

私たちは人々がチームやプロセスで新しいことをどのように実行しているかを「自由回答形式の質問」として尋ねることが好きです。かなり興味深い回答がありました：

“ 私たちはさまざまなAPIテストを実施しています。

“ 顧客に報告される前に本番データを使用して問題を特定する。テスト中に見逃した問題を検出する。

“ すべてをテストする時間がないので、長いリグレッションテストスイートを、パイプライン中のさまざまな場所で実行される複数のテストスイートに分割しました。

“ 私は調査したリスクをテストチャーターの中に明示的に書くようにし始めました。

“ テストにプライベートな時間も捧げて、私のテストの魔力を取り戻しました（笑

“ テストプロセスを加速するために、Opsについて学んでいます。

“ テスト管理ツールを採用しました。

“ より正しいスタンドアップミーティングになるようにスクラムミーティングの改善を図っています。

“ 内部のテスト活動の補完としてクラウド・テスト（crowd testing）を利用し始めました。

“ 私は各プロダクトチームから開発者を指名し、品質チームのリーダーに届ける品質の声となる「チーム」を作りました。今後この専用テストトレーニングを全チームに試行して広めるために、これらのメンバーを6ヶ月毎にチーム間でローテーションします。

“ Dockerを使ってより多くのテストを独立させています。

“ ビジネスの価値、開発者やプロダクトアナリストとのコミュニケーションに重点を置いています。

“ 全て自分でテストを実施する役割から、チームをコーチする役割に移りました。

“ セキュリティテストをリグレッションテストの一部に含めました。

“ 品質の監視役ではなく、品質の提唱者として活動するようになりました。

“ 開発者やプロダクトオーナーとより連携し、チームへ綿密なデモやレビューを提供しています。

“ 持続可能な形の自動化としてAPIテストを導入しました。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

Share

テストで将来重要になるもの

今後主流になる技術とトピックスから判断して

今後「ホットな話題」になりそうなものを知るために、別の自由回答形式の質問をしました。若いテスターや、これからどのような技術の習得に時間、資金、知識をかけるべきかを検討している方々に興味深いアイデアがあります！

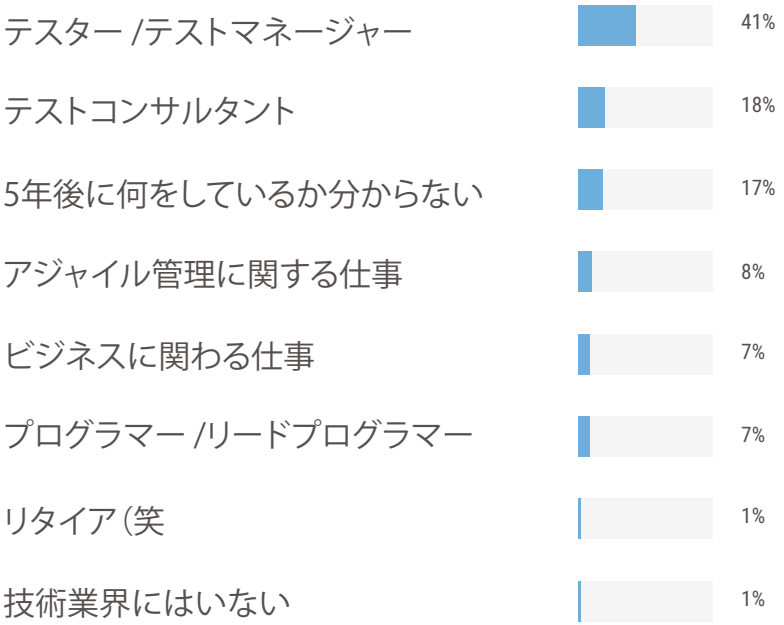
私にとってどんな意味があるの？
私たちは（適切な時期に適切な場所にいることを確認するために）今後何が「ホット」になるのかを何度も自問しています。ホットなものやホットになりつつあるものに関する非常に具体的なアイデアは次のとおりです。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

キャリアと自己啓発

5年後の自分は何をしていると思いますか？



今回追加した「アジャイル管理に関する仕事」という新しい項目が、他の項目のほとんどから票を奪い、8%に達していました。

その他の項目で上昇したのは「5年後に何をしているか分からない」の項目のみで、1%上昇しました。

職業の安定性についてどれくらい不安がありますか？

昨年に比べると少し不安がなくなりました。

46%
不安はない

38%
やや不安がある

17%
とても不安がある

テスト業界の体温計に当たるもう1つの基準が、世界中のテスターの仕事に対する安定感です。
今年は、自分達の仕事に不安を感じていると回答した回答者の割合が増加した昨年とは対照的に「不安」のレベルは下がっているものの、2年前と比べるとまだ高いです。
世界の大半の地域では金銭的な景気後退は見られないことから、チームにおけるテスターの仕事や地位に影響する変化が業界で起こっているのかもしれません。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

テスターを採用するときマネージャーは何を重視しているのでしょうか？

採用担当マネージャーに新しくテスターを採用するときに、最近は何を重視しているかを質問した結果、次のような点を重視していることが分かりました：

- テストニーズを客観的にとらえられているかどうか / テストの考え方
- コミュニケーション力 / 聴く力 / 明晰さ
- 技術力 / 自動化・スクリプト作成技術
- 積極性 / 自分で取りに行くアプローチ力
- 前向き / 良い態度
- コーチングスキル
- 問題解決力 / 適応性
- 好奇心 / 学習能力

- 創造性 / 既成概念にとらわれずに考える能力
- 自発性 / モチベーション / やる気
- 細かい注意力 / 几帳面さ
- チームプレイヤー
- ビジネスニーズを理解する力

私にとってどんな意味があるの？
特に採用マネージャーとの面談において、多くの場合、技術的なスキルよりもソフトスキル（Soft skills）がより重要となります。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

理想的な未来のテストの世界

テスターの視点から、自分達の仕事がより良くなるために何が変わってほしいかを質問しました。
以下に、興味深い回答のいくつかを紹介します：

“ 会社の全ての人が、品質はみんなの責任であることを理解してほしいです。

“ テスターに対して新しい技術やツール、イノベーションを学ぶための場所と時間を与えてほしいです。

“ 私たちがなぜテストをするのかについてもっと関心が集まれば...

“ プロジェクトに携わる全ての人々とより良いコミュニケーションを取りたいです。

“ 開発者とプロジェクトマネージャーがテスターのやっていることをより理解し、必要な情報を与えてほしいです。

“ テストコミュニティの情熱にもっと触れ、彼らの活動にもっと敬意を払いたいです。私の周りには、しばしば自己破壊するテスターが何人かいます。

“ 計画から顧客サポートまでの全てを統合したテストを実施できる、より素晴らしいチームワーク。

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

おわりに

情報は正しい決定を下すキーであり、これはすべてのプロジェクトや機会に当てはまります。あなたの製品をリリースすることができるかどうかを知るために経営陣に見えるようにする場合や、あなたの時間と労力をどこに投資すべきかを理解するために自分自身のキャリアを選択しようとする場合にかかわらず、情報というのは賢く選択するためのキーとなります。そしてたまに訪れる幸運は決して悪いことではありません...

5年間調査を行った結果、ますますよい情報、知見、傾向を得ることができるようになったと確信しています。それらはあなたのチームの将来、あなた自身の品質の専門としての将来、そしてテスト業界全体の将来について、個人的、もしくは専門的な決定をするのに役に立つことでしょう。

すべての回答をもう一度確認するつもりはありませんが、いくつか再確認するに値する傾向があります。それらは今後数年のうちに重要なキーになると考えています。

私たちの未来が悲惨に見えると思っている人がいますが、テストが死ぬことはありません。私たちは、テスターという職業への着実な流れを見てますし、並行して、より多くのテスターが10年以上現場で働いている様子も見ています。全体として、現在のテスト業界としてはこれまで以上により多くのテスターが存在しています。

とは言うものの、私たちは自分達の仕事を多様化し、仕事の中で行うべき価値のある作業を追求しています。一方でアジャイルな世界の現実を見てみると、多くの場合、テスト作業の半分が非テスターの手に委ねられていることもわかります。これは私たち全員への目覚めの呼びかけです。品質の役割を担い続けるために新しい仕掛けを学ぶ必要があります。

今年の報告書で分かった興味深い矛盾があります。私たちの仕事では正式な文書を作成することが少なくなっていますが、同時に仕事としてはより多くのスクリプト化したテストを実施していると回答しているという事実です。これはプロジェクトで行われる探索的テストの量を犠牲にしたように見えます。

探索的テストは依然として最も使われているテストのタイプですが、実際には昨年の報告に比べ、今年はわずかに減少しました。何か考える必要がありそうです...

最後は元気のでる情報で締めくくりましょう。今年は、テスターはテストと品質の専門家としての現在の仕事がより安定していると感じている事実から、雇用への不安が少なくなっていることが分かりました。

いつものように、私たちの調査に時間を割いて回答いただいた皆様に感謝したいと思います。また検討委員会にも非常に感謝しています。そして、このテストの現状調査レポートで、テストの世界で今起こっていることのイメージをうまく提供することにご協力いただいた皆さんに感謝いたします。

来年も会いましょう!
Lalit & Joel

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

PRACTITESTについて

PractiTestはQAとテストのマネジメントの全てをサポートする統合ソリューションです。本ソフトウェアはプロジェクトに関する情報の統制やテスト結果の組織への報告を中心に、テストや開発プロセスのコントロールをサポートします。本ソフトウェアは要求仕様の整理、テストの作成と実行、バグトラッキング等をサポートしています。さらにJIRA、Bugzilla、RedMine、Pivotal Trackerといった有名なバグ管理ツール、Selenium、JUnit、SoapUI、QTP、Jenkins、Circle CI等の自動化ツール、Slackなどの開発効率を高めるアプリケーション等と統合可能です。
より詳細と15日間の無料トライアル版についてはWebサイトへ：
https://www.practitest.com

TEA-TIME WITH TESTERSについて

Tea-time with Testersは、世界に配信されているソフトウェアテストの（オンライン）月刊誌です。これまでにない変化の波がビジネスやテスト業界、テスターのコミュニティに押し寄せてきている現在、Tea-time with Testersは、明日のチャレンジに必要な最新情報をお届けすることを約束します。それらの情報は、ソフトウェアテストの世界をさらに深く、完全に理解するのに役立つことでしょう。2011年の創刊以来、本誌はテスト刊行物の関係者にとってひとつのベンチマークになっており、本誌がソフトウェアテストの理論や考え方に関する真摯な報告を初めて行いました。そして、改めて、技術的／企業ジャーナリズムの全く新しいジャンルにより近く、より鋭く迫る最初のものになろうとしています。本誌は、世界中のテストコミュニティにおける唯一の月刊誌であり、そのコンテンツの品質、執筆陣、独特な情報提供で知られています。現在、Tea-time withTestersは、世界の英文テスト雑誌の中で最高の発行部数と読者数を誇っています。
より詳細はWebサイトへ：
http://www.teatimewithtesters.com/

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest

ご協力いただいた方々

software testing tools

InfoQ

QUALITY TESTING

rtc

QUALITEST software testing experts

Testing Curator Blog

Derk-Jan de Grood

Keep Software Testing Weird

Qxf2 Services

TESTHEAD

TestingBaires

Hiccupps

TRISH KHOO CONSULTING

ADVENTURES IN QA

CHRIS KENST

Testknight

TEST RETREAT

Test Pappy

Knowledge Tester
Software Tester Equipped with Knowledge

Ben Linders Consulting
www.benlinders.com

© 2018 - PractiTest & Tea-Time with Testers. All rights reserved.

Sponsored by PractiTest